「孤独・孤立に関するフォーラム」

孤独・孤立の予防につながる

こども食堂を含む地域の小さな取り組み

～だんだんの場合～

2021.7.1(木)内閣官房孤独・孤立対策担当室

だんだん　近藤博子

「気まぐれ八百屋だんだん 」という場所

「だんだん」のあゆみ1

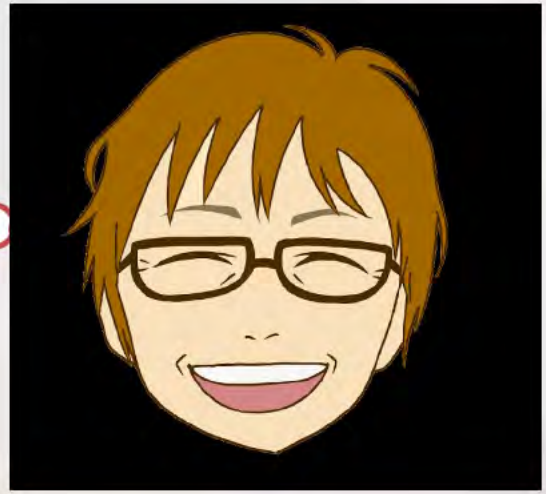
- 野菜配達・販売(2008年)

自然に買い物客のたまり場に

みんなが抱えている悩みや相談が聞こえてきた。
- 孤立
- 子育て
- やってみたい企画
- やってほしいこと

悩みを聞いたり、場所を提供したり、人を紹介したり

気軽に立ち寄れてお喋りしたり、悩みを話せたりする場所って大事なのね。



「だんだん」のあゆみ2

- 娘の学習支援から
  ワンコイン寺子屋開始
  （2009年）

忙しい社会の中で、

安心できる

みんなのほっとできる場であり続けること

第二の我が家

おばあちゃんち感覚

文化が繋がる

いろいろな活動の様子です。大人も子どもも一緒にごちゃまぜの中で行います。その中で、それぞれに気づいたり、学んだりしています。自然にミニ社会が出来上がってきています。

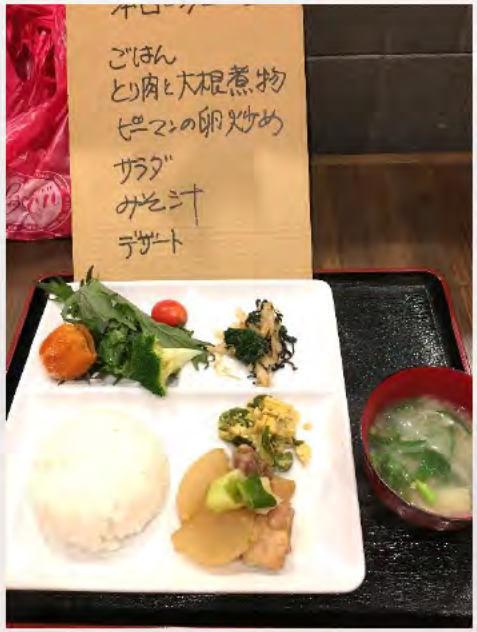
- 子どもは成長。見守られる側から見守る側に。

多世代がごちゃ
混ぜに関わるこ
とって大事なのね

コロナ禍における「こども食堂」について

新型コロナウイルス拡大のため

- 通常のこども食堂の開催が出来なくなり、長期休校対策のため、どんぶり弁当ランチ対応を毎日することにした。給食が始まってからは、毎週木曜日の晩御飯をお弁当対応で継続している。



こどもの生活応援課から就学援助家庭に、お弁当対応」のお知らせを送ってもらったことで、困難を抱える家庭とのつながりが増えてきた。予約をSNSでもらうことにしたことで、連絡先を知る事が出来たため、食材のおすそ分けのお知らせをする事が出来、必要な家庭に食材を渡すこともで来るようになった。今現在もおすそ分けを行っています。

保護者のみなさんにヒアリングをしました！

仕事を休めないので、子どもは野放し状態

自営業なので収入が激減し、賃貸料やローンが払えなくなる不安がある

子どもの勉強を見てやれない。受験が心配

友達に会えない不安で、子ども達が精神的に不安定になってきた

ネット環境もパソコンもプリンターもない

収入が減っているのに、食費はどんどん出ていく

外で遊んだり、部活もできないので、子ども達の体力の低下が心配

感染の恐怖の中で仕事をしていると疲労が重なる

ストレス解消できない

家で仕事をしていてもお昼ご飯を作れるわけではない

「食」という接着剤のおかげで、子どもとその保護者と地域の関わりが自然な形で、できるようになってきました。子どもは、社会の宝物。この世に生を受けた時から成人になるまで、そっと伴走できるような地域でありたいと思います。

ご清聴
ありがとうございました。